

取扱説明書

水冷バツフル

BW-10 BW-14

BW-20 BW-22

BW-36 BW-52


この製品をご使用になる前に必ずお読み下さい。また、
いつでもご使用できるように大切に保管して下さい。


株式会社アルバック

<http://www.ulvac.co.jp/>

安全上のご注意

PL-002-01C
(1999. 04. 06)




 ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

 ここに示した注意事項は、弊社真空ポンプを安全に正しくお使い頂くためのものです。また、注意事項は、危害や損害の大きさと緊急性の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「危険」「警告」「注意」の3つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

「危険」 人が死亡または重傷を負う緊急性を必要とする危険の発生が想定される内容

「警告」 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容

「注意」 人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容

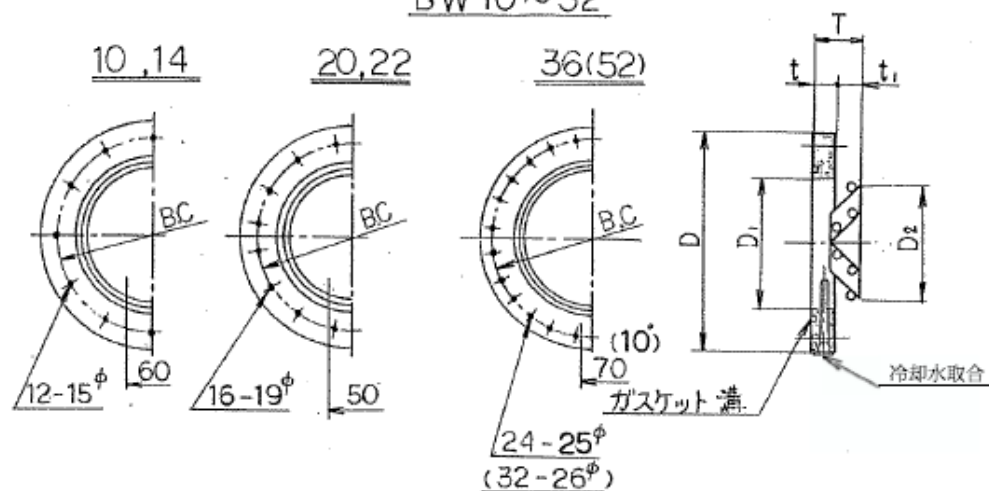
 危険	排気口をふさいだり、排気口側にガスの通過を妨害する機器をつけた状態で、真空ポンプを運転しないでください。真空ポンプ内圧が上昇して、ケーシングやオイルレベルゲージが破裂したり電動機が過負荷になるおそれがあります。
	ポンプを有機溶剤等で洗浄する場合には、労働安全衛生法、有機溶剤中毒予防規則等の関連法令に準拠して行って下さい。酸欠を起こす恐れがありますので、法令に基づき十分換気して下さい。
 警告	修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。発火したり、異常動作してけがをすることがあります。
	点検・修理の際は必ず電源スイッチを切ってから作業を行ってください。急に真空ポンプが始動してけがをすることがあります。
	アースを確実に取り付け、専用の漏電遮断器を設置してください。故障や漏電のときに感電するおそれがあります。
 注意	配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って、正しく行ってください。誤った配線工事は、感電や人災のおそれがあります。
	有害および可燃性が図を真空ポンプで排気する場合、ポンプの排気口以外にも、ポンプ本体からもれることがあります。ガスの種類に応じた適切な対策を講じてください。
	有毒ガスの排気に使用した場合、ポンプ本体はもちろんのこと、ポンプ油も有害になります。メンテナンス時には、ご注意ください。
	真空ポンプ運転運転中、主軸・軸継手・vプーリ・Vベルトなどの回転部分には触れないでください。けがの原因になります。
	電動機や真空ポンプに毛布や布などをかぶせないでください。加熱して発火することがあります。
	真空ポンプ運転中または停止直後で真空ポンプ本体があたたまっている時は、電動機や真空ポンプ・配管にふれないでください。高熱になっていますのでやけどの原因になります。
	動かなくなったり、異常がある場合は、事故防止のため、すぐ電源スイッチを切り、ご注文先、アルバックテクノもしくは当社に必ず点検・修理をご依頼ください。

*お読みになった後は、いつでも見られるところに保管して下さい。

株式会社アルバック

水 冷 バ ッ フ ル

BW 10~52



仕様	呼び	B W		
		10	14	20
D		φ 350	φ 450	φ 625
D1		φ 260	φ 360	φ 508
D2		φ 240	φ 336	φ 490
B・C		φ 320	φ 420	φ 585
T		39	45	152
t		22	22	24
t1		17	23	128
ガスケット溝		φ 291×φ 275×4.5	φ 396×φ 380×4.5	φ 554×φ 530×7
冷却水取合		Rp3/8	Rp3/8	Rp3/8
冷却水量		2.0L/min 以上	2.0L/min 以上	3.0L/min 以上
コンダクタンス L/sec		3130	5000	13000
重量 k g		7.6	11.0	22

仕様	呼び	B W		
		22	36	52
D		φ 680	φ 1065	φ 1480
D1		φ 570	φ 924	φ 1340
D2		φ 550	φ 890	φ 1290
B・C		φ 640	φ 1015	φ 1430
T		101	113	165
t		26	28	35
t1		75	85	130
ガスケット溝		φ 609×φ 585×7	φ 974×φ 950×7	φ 1389×φ 1360×8.5
冷却水取合		Rp3/8	Rp3/8	R p3/8
冷却水量		3.0L/min 以上	5.0L/min 以上	5.0L/min 以上
コンダクタンス L/sec		14000	54000	75000
重量 k g		28	66	200

材質：本体……軟鋼 Ni メッキ

バッフル…銅 Ni メッキ (BW-22,36,52 は軟鋼 Ni メッキ)

I 概要

本バッフルは油拡散ポンプ、油拡散エゼクターポンプの吸気口直上に設置することにより、これら蒸気噴射ポンプの油蒸気の逆流を防ぎ油蒸気の少ない真空を作るためのコンポーネントです。

排気速度をより有効に得るために十分大きなコンダクタンスを有しています。また、高真空でも十分使用できるように表面からの放出ガスの少ない表面処理を施しています。

II 取付

1. 点検

荷造をとられましたら下記のことをお確かめ下さい。

- (1)ご要求の製品と一致しているかどうか
- (2)付属品（アダプター、Oリング）は所定のものが付いているかどうか
- (3)輸送中に破損した箇所がないか

もし、不具合な点がございましたら、早速当社営業所までご連絡下さい。

2. 取付

- (1)水冷バッフルを有機溶剤にて十分洗浄した後、自然乾燥を行って下さい。

アダプターを必要とする場合にも同様に洗浄して下さい。

- (2)ポンプ吸気口に取付け、その上に水冷バッフルをのせた後、通しボルトでポンプ及び水冷却バッフルを固定して下さい。ULK-10A、14AにBW-10、14を取付ける場合には、ポンプと水冷バッフルの間にアダプターをはさみ込んでから固定して下さい。PBL-10、14、20に取付ける場合は、標準のバッフルは外して下さい。

ノート1：Oリングや高真空にさらされる部分の取扱いにはナイロン製の手袋を着用して下さい。

ノート2：Oリング表面にはアピエゾンLのような低蒸気圧のグリースがあっても塗布しないで下さい。

ノート3：ボルトは相対する2個のボルトを逐次適切なトルクで締め付けて下さい。

ノート4：シール面に傷が付いたり、異物をはさまらないよう注意して下さい。

3. 冷却水配管

(1)適切なホース又はチューブで配管して下さい。

(2)冷却水圧力 3 kg/cm² G です。

ノート 1：冷却水温度は 20℃以下が望ましい。出来るだけ低い温度の冷却水を流して下さい。

ノート 2：冷却水には軟水を御使用下さい。また循環水等を使用するために冷却水中の水アカ・ダストが多い場合には、ストレーナを取付けて下さい。

ノート 3：冬季長期通水せずに保管する場合には、凍結する場合がありますので、水却バッフル内の水を圧空などで抜いて下さい。

ノート 4：冷媒等で冷却する場合には、バッフル表面温度が油の流動点以下になりますと、トラップされた油がポンプに戻らず油不足になることがありますのでご注意下さい。

4. 保 守

(1)油拡散ポンプ、油拡散エゼクダーポンプの油交換、又はオーバーホール時に、水冷バッフルを取外し有機溶剤に洗浄して下さい。

(2)ポンプ油が異常加熱等で油劣化した場合にも水冷バッフルの洗浄を行うようお願い致します。

(3)水漏れが無いかどうか点検して下さい。

5. 保証条項

(1)本商品の保証期間は御購入より 1 年間です。

(2)正常な御使用状態で万一保証期間内に事故が発生した場合には、無償で修理させていただきます。

正常な御使用状態と以下の条件とします。

イ) 運転雰囲気温度：10～40℃

ロ) 排気ガス：乾燥空気又は乾燥窒素

ハ) 取扱説明書に従った運転

(3)保証期間内でも、次の場合に限って有償修理となります。

イ) 天災・地変や火災による故障の場合

ロ) 塩害・公害等の特殊雰囲気による故障の場合

ハ) 使用条件が取扱説明書（性能諸元、保守点検等）に記されているものと異なるためにおこる故障の場合

ニ) 弊社技術員によって、本商品の使用条件にあわないために発生した故障と判断された場合。

